

2019年はこうなる (2018/10/27発行)

全41項目中	○	25項目
全41項目中	△	4項目 (時期が少しずれたなど)
全41項目中	×	12項目
41項目に対して		25項目 → 的中率 60.9%

時期ズレを入れれば、70.7%的中したことになる。

2019年はこうなる (2018/10/27発行)

内容	適合性	備考
10月1日消費税導入	○	2021年3月まで景気は回復しない。
アパート／マンション投資で失敗	○	TATERU / レオパレス
倉庫／家具の経営権譲渡	○	大塚家具、ヤマダ電機の傘下に
ホテル売却による利益	○	ヒューリック、エイトワン
在宅勤務による貸しビルの空き物件増加	△	働き方改革で増えたが、2020年ほどではない
百貨店／スーパー不振・倒産	○	そごう、西武中心に地方で撤退
ネットショッピングの好調／食中毒	×	少なくとも、ニュースには出てきてない
建設業の倒産増	×	2018年に引き続き増えたが、30年間では低い
不動産業の倒産増	×	かなり低い水準だった
2018年に性能偽装していた会社が破綻	×	あるにはあったが、前年比で変わらず
家電製造会社と販売店の身売り	○	シャープが家電から撤退
ガソリンエンジン部品製造の衰退	○	コンチネンタル、ダイムラーが内燃機関開発中止

2019年はこうなる (2018/10/27発行)

内容	適合性	備考
コンビニ売却の動き	×	時期尚早だった。動きがあるのはこれから。
携帯会社のキャンペーン失敗	○	総務省による指導開始
キラキラ起業家の自己破産	○	かぼちゃの馬車をはじめ、不動産投資の全滅
警備業の人不足	○	2018年に引き続き著しい不足
墓仕舞いで末寺が終了	△	墓仕舞い代行業が成立した
連鎖倒産の発生	×	チェーン店の倒産は目立った
輸入牛肉が安くなる	○	2019年成立の貿易協定で下落
中国の北米輸出減少	○	北米輸出12.5%減
中国の海外資本工場が共産党支配下に	○	按分支配の開始
東南アジアでのランドバンクの不振	×	2019年ではまだ明確にはならなかった
韓国 日本と国際裁判	○	ICJ / WTOで国際裁判
韓国／北朝鮮で相互に嘘つき呼ばわり	○	2019年8月 北朝鮮は韓国との交渉終了

2019年はこうなる (2018/10/27発行)

内容	適合性	備考
インド経済成長とまる	○	景気減速が明確に
ヨーロッパの政治混乱／移民問題	○	社会問題化
ブレグジットの成立	○	12月に保守党が選挙に勝った
水産業で魚価高い	○	高値引き合い。約2倍だった。
米が収量減少	×	99でほぼ平年並み
日照不足	×	2018年よりは少し下がったが言うほどでは無い
ビール、日本酒、焼酎の消費落ち	○	ビール市場などが縮小
広告の減少と闇が表に出る	△	広告は減少せず。オリンピックからみで闇。
アイドル歌手の不倫疑惑	○	後藤真希
電話機業界でインチキ営業	○	インターネット回線のインチキ販売横行
家電販売不振、社長交代	○	ヤマダ電機
水素エンジンからの撤退	×	水素エンジンの投入延期

2019年はこうなる (2018/10/27発行)

内容	適合性	備考
銀行の貸し渋り／貸し剥がし	×	2019年は顕在化していない
証券会社のレポートで顧客損失	○	野村証券で顧客が提訴
保険の出し渋り	×	2019年は顕在化していない
2019年7月大水害注意	△	発生したのは8月、9月、10月
年末リストラ注意	○	黒字リストラが横行
全41項目中	○	25項目
全41項目中	△	4項目 (時期が少しずれたなど)
全41項目中	×	12項目
41項目に対して		25項目 → 的中率 61%